

マイナー競技における企業支援の効果 —CNC ウォーターポロクラブびわこを対象として—

高橋 里佳 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

担当教員 白木 孝尚

キーワード：マイナー競技 企業 支援 効果

1. 緒言

日本において、水球競技は競技人口が少ない上に競技環境が十分に整っておらず、注目度が低い。そのため水球はマイナー競技として捉えることができる。

スポーツチームと企業の理想的な関係は、お互いにメリットのある WIN-WIN の関係を構築することが重要である。

株式会社コスモネットは、水球がマイナー競技であるにも関わらず、CNC ウォーターポロクラブびわこ（以下 CNC びわこ）の活動を支援している。本研究は、マイナー競技を企業が支援することで、支援を受けるチームと支援する企業にどのような影響（効果）があるのか、また企業がマイナースポーツを支援することによって、そのスポーツの普及・発展にどのような可能性があるのかを明らかにすることで、今後のマイナースポーツと企業支援の繋がりについて有益な情報を提供することを目的とした。

2. 研究方法

(1) 調査対象

CNC びわこを支援している株式会社コスモネット (CNC) の社員 78 名 (男性 57 名, 女性 21 名)

(2) 調査方法

アンケートは、自由記述 8 問, 5 段階評価 30 問を設定した。5 段階評価の質問内容は、①水球について、②CNC 社員の支援内容の認知度、③媒体価値、④人間的価値、⑤会社の活性化のカテゴリに分類した。

3. 結果

5 段階評価の質問のうち値が高かった項目 (平均値が 4.0 以上) は、「CNC びわこをもっと新聞・テレビ・雑誌に取り上げてもらいたい」、「CNC びわこが勝つことで会社が盛り上がった」、「CNC びわこ社員が連

携し、チームも会社も盛り上げたい」、「CNC びわこが有名になると会社も有名になると思う」、「CNC びわこについて社員同士で会社内で話題にあがったことがある」、「CNC びわこの試合を多くの人に見てほしい」であった。

「CNC びわこを支援することによって地域の活性化に繋がっていると思う」の質問項目と「CNC びわこから日本代表選手が輩出されることを望む」($r=0.55$)、「CNC びわこがもっと全国的に有名になってほしい」($r=0.51$)に有意な正の相関関係が認められた ($p<0.05$)。

4. 考察

水球チームは、企業から支援を受けることで、遠征費や練習環境が確保でき、クラブチームとなることで外部からも選手を確保することができる。企業側は、支援するチームに代表選手や将来有望な選手が所属していることで、メジャー競技と比べ上位にいける可能性が高い。また、CNC びわこは女子水球競技初の企業とスポーツが共同したクラブであることから、メディアに取り上げられる機会が増え、企業の宣伝に繋がりが、会社の活性化に繋がることがわかった。

以上のことから、企業がマイナー競技を支援することで、水球チームと企業の双方に良い影響が与えられることが示唆された。また、水球チームと企業のメリットの内容を考えると、企業がマイナー競技を支援することで、地域社会の活性化に繋がる可能性があることが分かった。

5. 参考文献

- 1) 石井智, スポーツの価値と企業政策-「CSR」-の視点から同支社政策科学研究 8(1), 135-147, 2006-07